

未来へと 命を繋ぐ 189

※☎189は児童相談所全国共通ダイヤルです

児童虐待防止推進月間である11月、市では、ひとりでも多くの方が児童虐待防止のために何ができるかを考え、行動につなげていけるよう、「児童虐待防止・オレンジリボンキャンペーン」や講演会などを実施します。

子どもを虐待から守るためには、まず一人ひとりが児童虐待に対する意識を高めることが重要です。虐待に気付いたら、ためらわず通報してください。周囲の子供たちに関心を持ち、社会全体で子育て世代を見守り応援していきましょう。

■高橋和巳氏(精神科医・風の木クリニック院長)

児童虐待防止講演会

「わたしは悪い子？」虐待を受けた子を理解する～なぜ児童虐待が起きるのか

日時 11月16日(金)14:00~16:00

会場 市役所5階505会議室※直接会場へ

■児童虐待防止推進パネル展示

日程・会場 ①11月1日(木)~8日(木)市役所1階市民ホール
②11月12日(月)~29日(木)七生支所展示スペース

■LINE相談

東京都では、児童虐待を防止するため、LINEを利用した子供や保護者からの相談窓口を開設します。悩みや困っていることなど、ひとりで抱え込まず、気軽に相談してください。

右記のQRコードから登録してください。LINEを通じて相談できます。

日時 11月1日(木)~14日(水)9:00~21:00※土曜・日曜日、祝日は17:00まで

問 東京都福祉保健局少子社会対策部計画課(☎03-5320-4200)



▲友だち登録用QRコード

■オレンジリボンキャンペーン

オレンジリボンには、児童虐待を防止するというメッセージが込められています。キャン

ペーン期間中、子ども家庭支援センターをはじめ、市子ども部などの職員は、オレンジリボンを名札に付けて啓発活動を行います。



こんな時は、子ども家庭支援センターにご連絡を

話してほしい あなたの気持ち

イライラして、つい、子供に当たってしまう。

自分の子供なのにかわいいと思えない。

子育てがうまくいかない。自分を責めてしまう。

夫は仕事が忙しくて、何もかもひとりでやっている。話せる相手もいなくて、つらい。

一緒に住んでいる人が、子供を虐待している気がする。



気付いてほしい 子供と保護者のSOS

親が子供に大声でどなったり、暴言を吐いたりしている。

子供の泣き叫ぶ声が頻りに聞こえる。

学校や幼稚園、保育園を理由もなく休みがち。

子供が夜遅くまで遊んでいる。

子供がけがをしたり、病気になったりしても医者に連れて行かない。



子ども家庭支援センター(高幡)

☎599-6670

☎599-5454(虐待相談専用電話)

地域子ども家庭支援センター万願寺

☎586-1312

☎586-1171(相談電話)

地域子ども家庭支援センター多摩平はぴはぴ

☎589-1260

☎589-1262(相談電話)